

下都賀管内水稲技術資料 No.1

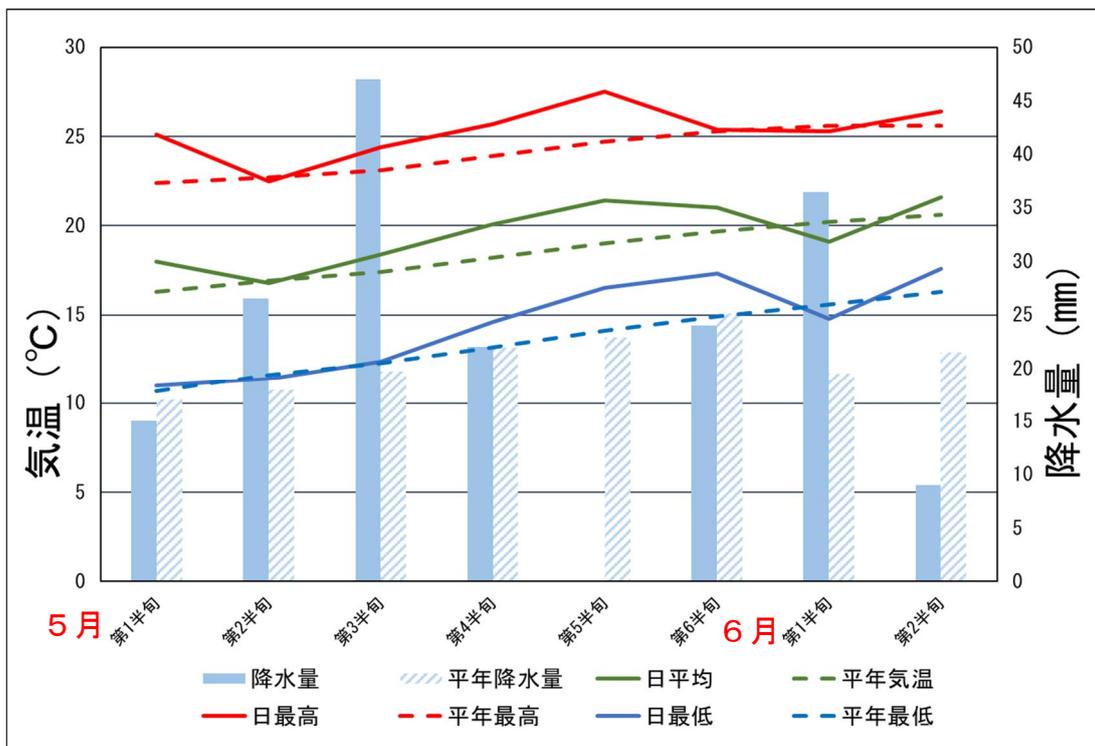
令和6年6月20日
下都賀農業振興事務所

重点ポイント

- ① 早植えは7月に入ったら、出穂前の管理・防除をしましょう！
- ② 穂肥の時期は、ほ場の生育状態で判断しましょう！
- ③ 普通植えは、莖数が確保されたら間断かん水へ！

1 気象の経過

5月は気温が高く経過しました。6月第2半旬（6/6～6/10）は降水量が少なく、梅雨入りが遅れています。関東甲信地方の梅雨入りは、6/20頃と予想されています。



※小山市アメダスデータ

今後も高気温が予想されます

2 気象庁の1か月予報（6月15日発表）

気温、降水量、日照時間の各階級の確率 (%)			
気温	関東甲信地方	向こう1か月 06/15～07/14	10 (低い) 10 (平常) 80 (高い)
		1週目 06/15～06/21	10 (低い) 10 (平常) 80 (高い)
		2週目 06/22～06/28	10 (低い) 30 (平常) 60 (高い)
		3～4週目 06/29～07/12	10 (低い) 40 (平常) 50 (高い)
降水量	関東甲信地方	向こう1か月 06/15～07/14	30 (低い) 40 (平常) 30 (高い)
		日照時間	関東甲信地方

■ 低い(少ない) ■ 平常並 ■ 高い(多い)

3 早植え・水稻生育診断ほ（6月8日調査）の生育調査結果

6月8日時点では、昨年と比べ、草丈・茎数・葉色が平年よりも大きくなりました。生育は昨年並みで順調に進んでいます。

表1 水稻生育診断ほ（小山市鏡）の生育調査結果

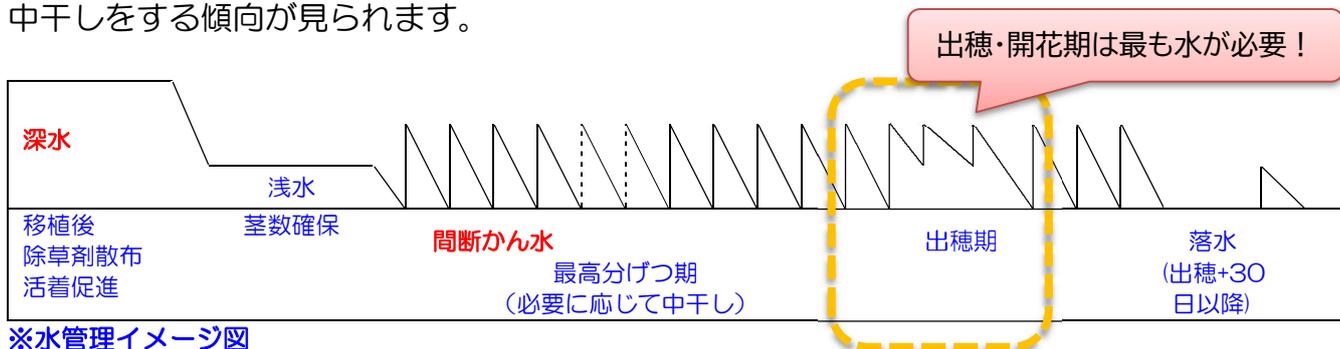
品種：コシヒカリ 移植日：5月3日	本年 (6月8日調査)	昨年
草丈(cm)	43.9	42.3
茎数(本/m ²)	701	659
葉 齡	8.7	8.7
葉色(葉色板)	4.0	3.8
生育診断値(葉色×茎数)	2,823	2,502

4 早植えの栽培管理

◎水管理

間断かん水を継続し、根の活力向上に努め葉色の低下を防ぎましょう。

出穂期は最も水を必要とする時期です。 不足しないように注意しましょう。この時期に水が不足すると、受精や稔実に障害が起き、粒数が減少してしまいます。田面が乾いてひびが入る程の極端な中干しは避けましょう。コンバインによる収穫しやすさの観点等から強めの中干しをする傾向が見られます。



※水管理イメージ図

◎穂肥

穂肥時期は出穂 15 日前（幼穂長が 2cm の頃。倒伏懸念の場合は 10 日前、粒数不足が懸念される場合は 18 日前）に、10a 当たり N：2～3kg 程度の施用を基準とします。

穂肥の施用時期は、**必ず幼穂長で出穂前日数を把握**し、生育診断を実施したうえで決定しましょう。

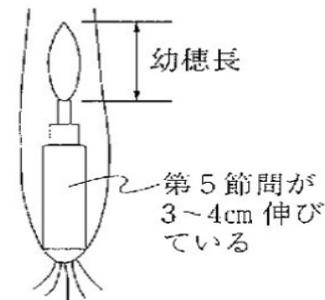
表2 県中南部：早植コシヒカリの生育診断指標値（栽植密度 20 株/m²）

時期	葉色（葉色板）	茎数（本/m ² ）	葉色×茎数
出穂前 30 日	3.9～4.2	470～500	1,850～2,100
出穂前 15 日	3.6～4.0	400～430	1,450～1,700

葉色が淡く、診断値（葉色×茎数）が指標値以下 ⇒ 出穂 18 日前（幼穂長が 8mm）
 葉色が濃く、診断値（葉色×茎数）が指標値以上 ⇒ 出穂 10 日前（幼穂長が 8cm）

～穂肥施用のための出穂前日数の確認の仕方～

カッターナイフで縦割りにした図



出典：「安心イネづくり」p66(農文協)

- ① 平均的な生育の株を探します。
- ② 草丈の最も高い茎 1 本を根をつけたまま取ります。
- ③ 左図のように、カッターナイフ等で稲の茎を縦割りします。
- ④ 幼穂の長さを確認し、穂肥の施用時期を確認します。

例えば、幼穂の長さが

5mm の場合、出穂前約 20 日

8mm の場合、出穂前約 18 日

20mm の場合、出穂前約 15 日

80mm の場合、出穂前約 10 日、となります。

生育のバラツキを考え、5 株程度、幼穂の長さを確認してみましょう。

◎斑点米カメムシ

高温、少雨の条件下では、発生が多くなることが予想されます。イヌビエやホタルイといった水田雑草や、メヒシバやエノコログサといった畦畔のイネ科雑草は斑点米カメムシ類の誘引源、発生源、本田内へ侵入するための中継点となります。

本田内の除草及び、水田周辺の草刈りを行い、カメムシ類の生息しにくい環境作りを行いましょう。

水田周辺の草刈りは、

① 水稻の出穂 2～3 週間前、

② 出穂期頃

の 2 回行くとイネ科雑草の子実が作られないので効果的です。

(2 回除草ができない場合は、**出穂期 10 日前まで**に除草をすませましょう！)



アカヒゲホソミドリカスミカメ



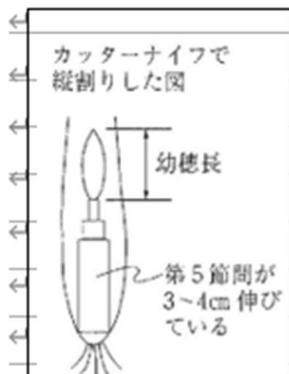
クモヘリカメムシ

◎稲こうじ病

発生後の防除ができないため、必ず適期防除(出穂期20日前～10日前)を行いましょ。←

幼穂長の測定と防除適期←

出典：「安心イネづくり」p66(農文協)



幼穂長	出穂前日数(約)
2mm	22日
5mm	20日
8mm	18日
20mm	15日
80mm	10日

平均的な生育の株を探し、草丈の最も高い茎 1 本を根元から取る。←

稲こうじ病の防除適期



◎いもち病

BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果では、6/2に佐野アメダスで、感染公的条件が発生しています。いもち病は気温25℃～28℃で湿度の高い条件で感染拡大がすすみます。梅雨に入ると発生が多くなりますので、ほ場をよく見回り、早期発見・防除に努めましょう。また、いもち病の発生源となる取り置き苗は早急に処分するようにしましょう。

BLASTAMによる葉いもち感染好適条件判定結果(令和6年度)

発生指標	?:判定不能	-:好適条件なし	1:準好適条件1	2:準好適条件2	3:準好適条件3	4:準好適条件4	●:好適条件			
	黒磯	大田原	日光東町	塩谷	那須烏山	鹿沼	宇都宮	真岡	佐野	小山
6月1日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月2日	-	4	-	4	4	-	-	-	●	-
6月3日	-	4	-	3	4	3	-	-	-	-
6月4日	-	4	3	3	4	-	-	-	4	-
6月5日	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
6月6日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月7日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月8日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6月9日	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

5【参考】普通植・水稻生育診断ほ(栃木市皆川城内町)の生育調査結果

6月8日時点では、生育は一昨年並みで順調に進んでいます。

茎数の少ない場合は夜間かん水、日中は浅水管理(水深2~3cm)を行い、茎数を早期に確保しましょう。**必要茎数(360~380本/m²)**が確保されたら間断かん水に移行しましょう。

表3 水稻生育診断ほ(栃木市皆川)の生育調査結果

品種：とちぎの星 移植日：5月23日	本年 (6月8日調査)	一昨年
草丈(cm)	24.6	22.7
茎数(本/m ²)	111	114
葉齢	5.2	4.9
葉色(葉色板)	3.8	4.1
生育診断値(葉色×茎数)	423	471

※昨年は薬害が発生したため一昨年と比較しています。

～栃木県からのお知らせです～

6月～8月は、「栃木県農薬危害防止運動」の実施期間です。



- ・安全作業の第一歩！ 農薬散布時の身支度は万全に！
- ・いつものチェック！ 農薬使用の際は、ラベルをよく読み正しく使いましょう！
- ・農薬散布のその前に！ 風量や風向きに注意して、飛散防止に努めましょう！
- ・周辺への配慮！ 住宅地等でやむを得ず農薬を使用する際は十分に配慮しましょう！
- ・農薬散布のその後に！ 防除器具の洗浄も必ず行いましょう！

問い合わせ先

栃木県下都賀農業振興事務所 経営普及部 農畜産課 0282-24-1101

HP <http://www.pref.tochigi.lg.jp/g54/index.html>